

## 幼児施設を取り巻く現状と取組

加賀屋 久 人

(学校法人山王学園 理事長)



### ■はじめに

私は東日本大震災の前月、2011年2月に創業者である父が急逝し、現職に就任しました。

本誌2013年8月号に事業承継について乱文を掲載いただき、二度目の経営随想になります。

学校法人山王学園は本年48年目を迎えています。今回は幼児施設の現状、新しい事業について拙文ではありますが書かせていただきます。

### ■法人紹介と幼児施設の現状

学校法人山王学園は幼保連携型認定こども園1か所、幼稚園型認定こども園1か所、小規模認可保育園2か所、企業主導型保育事業所1か所の計5園を運営する法人です。

幼児施設は、文部科学省所管の幼稚園、厚生労働省所管の保育園が主流でした。それぞれ幼稚園は就学前最初の教育施設、保育園は働く親御さんのための子育て支援施設と役割が分かれています。

しかし、核家族化、共働き家庭の増加により、幼稚園のような決められた時間で登園・降園する学校的な施設より、保育園のような終日就労した後で迎えに行ける、子どもの生活所にニーズが傾倒していきます。結果、内閣府を所管とする、幼稚園と保育園両方の機能を持った認定こども園制度がスタートし、当法人でも2015年と2017年に運営する2幼稚園を認定こども園

に移行しました。現在、秋田市の幼稚園の大半は認定こども園になっています。

在園の子どもたちに提供する主なサービスを幼稚園では「教育」、保育園では「保育」とされてきましたが、今は「教育・保育」「保育・教育」と変化し、職員の必要資格も、幼稚園では「幼稚園教諭」、保育園では「保育士」だったものが両方取得することが望ましいとされるなど、一元化が進んでいます。

### ■職員確保と育成の難しさ

幼児施設は預かる人数・年齢によって法定で厳しく配置する職員数が決められています。そして職員は国家資格を取得しておらねばならず、誰でもよいという訳ではありません。

前述の通り、共働き家庭の増加は、高齢化に伴う労働人口の不足と相まって、さらに加速しています。そのため、出産後子どもを0歳から施設に預ける家庭が大幅に増えました。0歳児は特に法定での職員配置が手厚く、子ども3人に対して常時1名の配置が必要です。国・地方自治体とも待機児童解消のために施策を打ち出していますが、受け入れに必要な職員が全国的に不足しています。

秋田でここ数年顕著なのが、資格を得た多くの学生が県外に就職し、さらに何割かは一般企業や資格に関係のない職に就きます。残った学

生が仮に就職しても、20歳そこそこで「先生」と呼ばれ、子育てを経験している保護者に対するため、悩んだ末に早期退職する人も少なくありません。仕事は子どもと接する以外の事も多く、「先生」になりたいのではなく、「子どもが好き」という理由からこの仕事を目指す人が多いため、ギャップに苦しむことも理由だと思っています。

さらに今の学生は、在園児の多い大型園を敬遠する傾向があります。幼児施設で3歳以上児は、担任1人で15名以上をみます。大勢を1人でみることが不安なのか、3歳未満児を専門に、1クラスを複数の職員でみる小規模施設に就職希望を出す人が年々増えています。かつては小学校に連結する5歳児の担任は子どもの記憶にも残る花形でしたが、今では希望する人の方が少数になってしまいました。

何よりも子どものため、やりがいを仕事のモチベーションにできる職員の育成は困難になっています。

### ■誘致が必要である業種としての取組

幼児施設はホテルや旅館などと同様に、サービスを提供するには施設まで来てもらう必要があります。

選ばれるように保育・教育の質の向上を図ることはもちろんですが、何より子どもがいるエリアに進出することが効果的です。特に送迎用の園バスに乗車できない3歳未満児は保護者が送迎しやすい事（近隣・職場の近く等）も大切になってきます。

2020年から当法人では2か所幼児施設を増やしました。その理由は下記の4点です。

#### ① 子育て世帯が多いエリアへの進出

#### ② 入園者減少リスクの分散化

#### ③ 新卒学生確保のため窓口の拡充

#### ④ 新設園認可の縮小

「子育て世帯が多いエリアへの進出」は、前述の通り、ニーズが多いエリアに幼児施設を置くことです。秋田市では秋田駅東口から南部地域にかけてがこれに該当します。

「入園者減少リスクの分散化」は、一戸建て率の高い秋田において、通園エリアの子育て世帯がピークアウトすれば入園者は減少します。少子化も進んでいますし、1か所の園児が減っても他の施設で補いながら法人運営をすることができます。

「新卒学生確保のため窓口の拡充」は、大型園を敬遠する学生の事を書きました。新しい幼児施設は小規模で3歳未満児を預かる施設です。法人としてだけでなく、各施設からも職員募集をかけ、入口を増やします。乳幼児の担当として採用しても、興味が出て、適性があれば3歳以上児の担当に配置転換もできます。まずは門戸を叩いてもらうことが何より大切かと考えます。

「新設園認可の縮小」は、秋田市ではほぼ待機児童は解消してきており、今後新しい園の認可は減少します。そのため、急ぎ認可をとり、開園することにしました。

以上4つの目的以外にも、施設を増やしたことで、中堅職員の昇進先が増え、長年勤めてくれる職員に役職・給与においても報いることができるという副産物も生み出しました。

### ■人は宝、働きやすい職場を

幼児施設は、支出の約8割が人件費という業態であり、職員そのものが魅力であり、商品で

あります。

当法人は職員数約170名、大変多くの職員に支えられ、またその生活を守るという重大な責務を負っています。私が2004年4月に秋田に戻ってきた時は、法人職員の平均年齢は26歳程で大変若い職場でした。これは早期退職が多く、中堅職員が非常に少ないアンバランスな構図になっていたからです。

職員の約90%が女性でしたので、結婚・出産が一番大きな離職理由でした。当然子育て経験があるクラス担任はほぼ皆無。保護者からの子育て相談を受ける時には管理職が出て対応しなければならぬ状況でした。経営者としては、若い職員が多ければ人件費も安く済み、良いのですが、経験に勝る武器は無い職場だと確信を

しておりましたので、地道に職員の離職を減らすように働きかけました。

あれから16年、毎年「結婚しても辞めないで」「出産しても辞めないで」と言い続けた結果、多くの職員が残ってくれるようになり、ここ5年は、毎年5名前後、多いときで8名ほどが産休をとって復帰してくれるようになりました。さらに、子育てをする職員に安心して働いてもらうため、2018年には職員の子どもを優先的に預かる企業主導型保育事業所を立ち上げました。

あと2年で事業を始めて半世紀を迎える当法人は、過去最多の職員を抱えて2020年度スタートしました。これからも職員一丸となって地域の子どもたちの健全な発達に努めて参ります。



〔こまちベビー園(2020年1月開園)〕



〔ごしょのベビー園(2020年4月開園)〕

## 法人概要

- 1 法人名 学校法人山王学園
- 2 代表者 理事長 加賀屋 久人
- 3 所在地 〒010-0953  
秋田市山王中園町4-15
- 4 TEL 018-862-2223
- 5 FAX 018-862-2244
- 6 URL <http://sanno-gakuen.com>
- 7 設立 1977年2月(1973年事業開始)
- 8 教育・保育事業所
  - 幼保連携型認定こども園  
山王幼稚園・保育園(秋田市山王中園町)

- 幼稚園型認定こども園  
御所野幼稚園(秋田市御所野元町)
- 小規模認可保育園  
こまちベビー園 ※2020年1月開園  
(秋田ノーザンゲートスクエア 1階)  
ごしょのベビー園 ※2020年4月開園  
(スーパーセンターアマノ御所野店 敷地内)
- 企業主導型保育事業所  
さんのうベビー園(秋田市川元開和町)
- 9 関連法人 社会福祉法人山王平成会  
(秋田市御所野地蔵田)